引續き公使館の奉 夜は政府 迎會に御親臨 主催晚餐會

たが引續き滿洲國 | 出見式に輝く人々は助の御喜びを受 | ばされる事となつた

(七日午後は特に御) 御人京第一夜を

一勞者に

バルコニーから應へさせ賜ふ

七日夜の皇帝陛下

旅情を御屋の申上げるべく完 成されたものだけに皇帝には 極めて御滿足に拜され、接件 員の御説明にうなづかれ御典 發げに御見受けされた由であ

一つた、一つ同は御引きない。一句は御引きない。 **茶菓を拜受、御旅** られた大食堂の した總富蘇峰氏を始の森、大 少佐及び駒井前鯖洲國總務長 【東京國通】赤坂雕宮に於る を召され親しく謁見仰付けら 喜多、塚田、伊藤各陸海軍大 れ茶菓を賜つた、此光榮に浴 佐、竹下、和田園中佐、廣倉 花電 車 を 御 観覧 ・ 本名され親しく謁見仰付けら 喜多、塚田、伊藤各陸海軍大 ・ 、 教諭 溢るる奉迎文を捧足した ・ 教諭 溢るる奉迎文を捧足した

本國民のあまりにも一野して居られると同野して感謝の言葉も 番御心配申上げて居たが、私は皇帝陛下の御健康を一権機であった

今回御日にかゝ字でその御 時間の ・ 大寒である ・

して語る

常な感激を受けられた御骸な御敷迎振りに對して

左の如く謹話し

変数り鬱粛に立返つた離宮前 が五色の電飾美はしく差掛つ たので皇帝には秩父宮、同妃 耐殿下と共にバルコニーにお 立ち遊ばされ秩父宮の御説明 紀方は御退下遊ばされた、御 が無を交はさせられ八時卅 が大災宮、同妃殿下を除く二 の大災宮、同妃殿下を除く二 が終つて御一同は旭の間にお が終つて御一同は旭の間にお は七日午後八時過ぎ





H

H

京





皇帝陛下御旅館に

皇族殿下御招宴

花鳥の間で御交驩

に與つた皇族殿下は秋父宮、 外二十餘万失々陸海軍式の證 教に大勳位本經御佩用、ロー ブ、デコルテの御禮服御美々 しく妃殿下御同伴、夕づく六 時前後から續々と御旅館に御 宮階上、カットグラスのシャ御主催の皇族殿下御招宴は七七年の皇族殿下御招宴は七七年の皇族殿下御招宴は七七年の皇族殿下御招宴は七十十年の皇族殿下御招宴は七十十年の皇族 の「ブエート、ド、クール」宮内省製員の管絃樂ビエータ

一添へ奉るうちを御人京第二夜等名曲六曲の奏樂にて御興を を皇族殿下と御歌談裡に御會 御交離をつくさせ給ひ、

美濃部博士の説明

関家の法律上の観念等約十項関係の法律上の観念等約十項

檢察當局滿足

日浦及ソヴェート三國間の 外務省通商局長 來栖三郎 常設調停委員會に於ける帝

四ベは午後二時頃一旦終つて 同べは午後二時頃一旦終つて 戸澤、太田南検事は岩村検事 正にその結果を報告、今後の 取開べに對する討議を行つた が、美濃部博士の陳述は頗る 検察部局を満足させた模様で 二時から横けられた取調べは

北鐵常設

日本侧委員决定

が日本側委員は左の如く競令 國側一名、露國側二名の委員

氏(同)八日正午發

▲哈市特別區立師範科生五十名八日午後三時來京、同四時發開行 本大分縣立竹田中縣生黃十二 本大分縣立竹田中縣生黃十二 名十日午前七時三十五分來 京、同日午後四時發開行。 ▲酒井温氏(同) 人日正午破吉林へ 鳥男政氏(ヘルピン中央法 、同日午後四時酸南行の十日午前七時三十五分來十日午前七時三十五分來

9有 店藥名有國全

は同夜八時過ぎ御退出遊ば された、なほこの夜、沈、寰 された、なほこの夜、沈、寰 が、太谷、白根、高須などの では同夜八時過ぎ御退出遊ば は東京関連)七日夜難宮に皇 ボンホニエールは満洲名物憲 国白塔を模型とする美麗なる 接件員も陪貪を賜つた 日の神饌の献上方を申出でた ねど 【東京國通】光榮の靖國神社 本紙 フッの幕関く若草は期え 「東京國通」光榮の靖國神社 本版グランドに若人を呼んで スポーツの幕関く若草は期え 派る ボンホニエールは満洲名物 光榮の靖國神社 皇族方に ボンホニエー ルの御贈物 の姿を再認識する して更に W 亜盟主たるの日本 御嘉納あらせられた その日く

治氏へ、ルピン官吏ン

天満屋ホテル

閉靜で居心地よい 市の にあつて 特等バス付至 5\*00 ¥ 4 50

代表的ホテル

▲小倉知正氏(天津會社員)
◆西條武二氏(建築菜)同
◆西條武二氏(建築菜)同
◆西條武二氏(建築菜)同
◆石橋米一氏(満電專務)同 射注防豫

世話二五九一番

**信定** 十六十七 第28日 分分分分 なる淋伝。又梅毒疾患には、其 尿を排泄し、排毒性四級感く可き機状、咳い毒機 海区地域を る責任ある 十九二八谷下新電 ◆又引代以方地 在上一大七万英古典

松村同三

入六〇三井田満

記者團大勝

對關東局野球

選手と戦終へて記念

松村同三10-

祖田田川

一後藤滿

原】HB【专 证 是】TB【类池 原一FB一演

涯)

〇中汇新

石橋立三

〇山田新

午南下

財政部對電楽の本春劈頭の見財政部對電業

唐宫立二

聞

學生軍上

本社から記念メ

大會盛大裡に

川村立三

はアリなれれる
開発である。
「関イつがた歌三總送二た残め練」い二よるに変を参あよ
「軍キきら、は者長球殿、にた智が、手早俺い現まで各へ
メを耳鈴賞振、にた智が、が手早俺い現まで各へ
メルルのに記一、だが、手早のにはアデ、九一た
メルルのでは、ことは、一般のがあれた。
メルルのでは、これには、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、これに、一般のでは、一般の

印野田森浪川司本

柏小高高高有赤岸

そ

財政部

雅岡厨 取部木中

1つてある。一方は

道部その他に代つて大きな権 されるとしても、その實質に されるとしても、その實質に されるとしても、その實質に がいては遙かに向上され、鏡

## 鐵道事務所は愈よ廢止

## られてゐる、慶止を目前に が引繼の準備は中山庶務長の でに歪つてゐる前稜になるのではないかと 員いづれる落着かぬ風である つでも引瀾ぎ出来る四月十日附を以て十一 控へて新京鐵道事務所では所 手許で権秘律に 兩三日中に發表

一来る程度にま

ご見せ

## 限は却つて擴張

## 初代所長は古川氏に内定 新京出張所の内容

日九月四

年

の異動が豫想されてゐるが、 いかと見られてゐる 「現在の中山旅務長、野村營架大長級の人物である、なほ今 現在の中山旅務長、野村營架

鐵道部職制改革

田滿鐵副 、近い中に視察にされる意向だ、北

八日午前十一時三十二分新京 教化課を約一時間遅れ後車、 新京に三十二分遅れ午後零時 四分到着した、原因は目下敷

四番地質屋業つたや事管野正の大年が上上の大に至り三月十日頃入質したモダン仕立狐色オーヴァーを質受するが如く同家要女に同ひ「主人は居るか」と確めて在と聞くや「元利幾何なる」と

日本り金を出すが如く と皆るやオーヴァーを終 のでは、 を奪つたら 逃走する考へ

定の無銭伙食と見るにか田率弘は七日自にが田率弘は七日自たが日本の知き遺にて金を脅迫にいるを脅迫にいいませんでするかの如

企みに綴られた遺書 日 べく尚国田を立つた嬉し野は 知 死に際し俺は夢の國へ行く 実しい世界へ……父母兄弟 には心から許しを願ひつゝ には心から許しを願ひつゝ には心から許しを願ひつゝ

グピー酸は七日午後二時から 島型、尹(線審)三審判の下 に電繁先歓で開始されたが雨 事よく奮戦し前後中ともに得 歌なく引合けとなつた雨軍メ ンバー左の如くである

るにかめかける。 を表現のである。 を表する。 をまする。 をまする。 をまずる。 をまする。 をまずる。 をまずる。 をまする。 をまずる。 をまずる。 をまずる。 をまずる。 をまずる。 をまずる。 をまずる。 をまずる。 をまずる。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をする。 をまする。 をまる。 をする。 

野球リーグ地方事務所各係

□ D 主催地方事務所内各係リーク歌式野球大會は八日午後 西藥學校で開始されることに 西藥學校で開始されることに 市藥學校で開始されることに 大つた、組合せは左の如くで 大つた、組合せは左の如くで 大力本土木勢經理本土木野 地方本建築對應務 本經理對地 本土木勢經理本土木野 経済計算。

日本橋區町内會 英店 代 親妹妻喪主(開花) 購買組合

瀧山楠桑正新丸北丸 竹下野野岡見山川安 石藤権近太 ミサ衛 郎蔵一雄郎信ツキ門

現大学財命票 1105人名 銀相場

舞踊単校の舞踊園少年少女州 「東京國通」シャム公使の斡 「東京國通」シャム公使の斡

日、木、金、午前九時着

シャム舞踊團

町内會維代 三州人會長

次女英子儀豫テ病氣ノ處、次女英子儀豫テ病氣ノ處、治・明治中後一時ョリ途中行列で愛シ大正 中面 一代へ 謹告仕候 当・明治中後一時ョリ途中行列で愛シ大正寺・於ヶ舎別式執行可仕候 新京平安町一丁目七番番野京平安町一丁目七番番昭和十年四月八日 親戚總代 白藤

一報次第見積に参上可仕候

公益商會 工場新

神 學 各種材料部學製造部 一十ノ一町野吉 --五五電

◇呼吸器型 科科

生るなり――迷惑かけてす 生るなり――迷惑かけてす 警務司官吏宅に 拳銃强盗

一、事務所用二階建興立家議プ求4(ビルニテモ軍) ・ 作坪約五十坪位(階上階下共五、大經略者)、大 同大街附近 一、修理、改造ヲ要ズルモ可、家賃其傷面検 一、終理、改造ヲ要ズルモ可、家賃其傷面検 一、経名在社(電話三三〇〇香機告部)

田

英子さん

網々來京

ニレの樹を譲る

事に戴つて演響、浪曲界など 高俳優として世界的に監修されたが今は舞台人として一座 を事ひ公演中の早川宝洲は一 中だが新京は十六日から三日 中だが新京は十六日から三日

カール山氏の電兄北川元吉氏は七町 カ山氏の電兄北川元吉氏は七町 日午後二時死去、九日午後三 時間花出棺説町太子堂で顕儀

一般觀衆にも公開

0

映惠

市内永樂町三丁目恭信無盡會市内永樂町三丁目恭信無盡會

御訪日

亭で無錢飲食

あるがいまだ逮捕に至らない 一ケ、同寶石入り耳飾り一ケ 県革製短靴一足を選審逃走し た届出により首都警察廳では 市ちに非常線を張り捜査中で

拾 つた貯金通帳の 謝禮でイザコザ 余り感心ならぬ兩者

選走、西三扇路石山ア 行帳電取調べを進めてゐる なし「金は宅で拂ふか 古田、土田南窓査が踏み込み に来い」と仲居をつれ に来い」と仲居をつれ 西里、土田南窓査が踏み込み 新京署成於刑事 に使り捜査中の に使り捜査中の

五名はブントンルーア女史に見強りを受けたといふ程あつて何れも貴族階級の子弟許りである、一行は約一ヶ月半の潜在中にシャム舞踊を紹介する外日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に載ても、3か日本の音樂舞踊に表

友人總代

島清岩早辻麻伊白藤 名水瀬川 生東石田 福木己武 磯正 藤 郎一助夫馨平夫握助

電話五四四五

THE CONTRACTOR OF THE PARTY AND THE PARTY OF THE PARTY OF

いつて、他用数をふみやがつたか

ざまるみやがれー

質けっぱりのいるのが江戸ッ子な

んぼの中の胴後に、お園香してる

「ヘン間ンながら走ノ子は、ぼ

るのに気がつかなかつたか。

このはは、破場るな、動的

って、陶芸の版に作ち筆がきまつ

のを知られえのか。」

「島原だナの近江の毘園神ツて

程場……肺かられえの。」

かへズラかつたらしいし、ここま

「うん、どうせ、奴等は職山の れぢゃ、全夜は昨日の厄路しに、 れぢゃ、全夜は昨日の厄路しに、

つと配つづけとは岩気の

時間の小判価をあけて搭號しやが

あの胡吠の輝と後家が

モノがモノだけに、

『ちよいと作つてくんねる。オ

海ぢやねる。」

「さっかつて地でもあるめる」

・〇〇 日浦國歌合唱會 主催 東京女母を授聯閣 主催 大阪毎日新聞 東京女母を授聯閣 横族人場式並日輔剛閣 横族人場式並日輔剛閣 横族人場式並日輔剛閣 横族人場式並日輔剛閣 横路 大阪毎日新聞配 大阪毎日新聞配 大阪毎日新聞配 大阪毎日新聞配 大阪毎日新聞配 大阪毎日新聞配 大阪毎日新聞配

に聞かれたら笑はれるぞ。ありや

200

「ははは、相主人――まぜツ過

ひしてみやがるぜ。」

ではは、また眼の名所を製造

山の中にも、コリナ

『あれ、こ」気津ぢやなかつた

「ははは、御歌人

一へイ、今日お忘れもお手の筋

昨日忘れやがつた

**五**一

つかつた観明が、総てつほとなる一大戦が歌出行・コ (禁上族) 撰》 

東京は約2ろみたいにはしやぎだ からしいものが見えたので、久しいものが見えたので、久し 路を上るのだが、中く触らな山ば

九日(火曜) 新京 大一〇 ラデオ登操(満語) 大一〇 ラデオ登操(満語) 大二〇 中等海語調座(大連) 日間で 大二〇 中等自語調座(大連) 大二〇 特命近衛師團銀兵式 海環標 一〇、四〇 経濟市況(東京) 一〇、四〇 経濟市況(東京) 一〇、四〇 経濟市況(東京) 一〇、五九 時命近衛師團銀兵式 海環標 一〇、四〇 経濟市況(東京) 一〇、五九 時命近衛師團銀兵式 海環標

●八白の人 山氣は破れを招くものと知り本葉へ切たれ 甲と卯と癸が吉 ●九雲の人 八方に目を配り 障碍を除さつ、漸進すべし 内と丁と癸が吉 143の人 浮薄の潮流に捲 き込まれぬ様注意すべき日 丙と庚と辛が吉 禍を引き起す

但日本人二十 一

店員 募集 数名 採用 数名 採用 (本語)

番二八八三图話度

化水道

カナへ商倉新京

電

新出張所

長殿長雪町二

新京日出町六丁目二番地 新京日出町六丁目二番地 東京日出町六丁目二番地 本京日出町六丁目二番地

り見雕なさると

語

高多支那語會話篇 自午龍 就 篇 自午龍

和十年四月三日 一四二番〉(支店電三一三九番)へ 一四二番)(支店電三一三九番)へ 一四二番)(支店電三一三九番)へ 一四二番)(支店電三一三九番)へ ≡講習 習

Ti 七八九十 出去夫古大九 雄(回図) 格公司



(イ) 割が代(の) 満洲胸脈(ハ) 満洲胸脈(ハ) 満洲胸脈(ハ) 満洲胸脈(ハ) 横門 間時刻に延期して間時刻に近期して間ががでいまる。 (大連) ここの 成人語座 (満語)

新進青年手合

【共三】

0

用

產

敷座

東京女子中等學校生徒

(イ) 君が代(ロ) 精洲関歌(ス) 日満愛雛歌 悪 南作詞 西谷武平作曲





尾閉宿





曇後睛! 0











用

西

仕事や始弱で抜れて最つた頭もノーシンで爽かに味れます

ず總額的一千七百餘薫圓を減 であるが右は昨年上中期 に於ける市價低落に原因して

本以て職別國經濟界の大勢を観るに な以て職別國經濟界の大勢を観るに を以て職別國は建國滿二ヶ年 を迎へたのであるが既にして を迎へたのであるが既にして を迎へたのであるが既にして を迎へたのであるが既にして を強へたのであるが既にして 計動類に入ったのであるが既にして 大変通の發達と 超費の動態は漸く其の緒に を業の勃興は實に目覚しいも を業の勃興は實に目覚しいも のがある

はもう絶無となるかもしれても昨日迄の大阪引が今日でなしにの政治的事情からした。

高級……新車 ◎高級……新車

現代タク

本帝 - 上海標金 本帝 - 100萬 1100萬 11

開注視の内に舷々來る十日の神殿に於る石油類の事實は

### 一大紡績が協定し 口 機械を採用 生産費低下を企圖

専賣實施による

のを操用するに至るであらう と協定した、三大紡績會社が と協議し且つ各道商工関体の 枚 は こうなつた以上その他の諸會 意見を鍛するため通牒を競し と のを採用するに至るであらう 出可能性のある商品に對し速 と が益々低下され、野外競争陣 る由である を 張化するものと期待される

質に際し屢々驚明した如く外を見ても満洲図政府が石油專 

海為

朝鮮殖産局の 関連を製機として鮮ツ貿易闘係 が変を製機として鮮ツ貿易闘係

は言へない向ふは國家が取りは言へない向ふは國家が関してあるちしい俳しこれは他の下には泥じやうがるるといふことを心得てゐないからであつて取り相手のいからであつて取り相手のない。 四百團餘り、第二三分三十一月二十一日限り時效は三千三百興餘り、第三回同十二月二十一日限り時效は三千百圓で最も天きいのでは頭彩の附彩三百人の常選者が取りに來ず大体三回で九千圓足らずの金が未拂分となつて居り彩票の好賣行きもと此の愁のなさ加減とを對照して彩票係りを苦くさしてゐる

對ソ取引は

東行良好で賣出し後堀くとも三海川以内に賣切れ、其以後はプレミアム付で賣出し後堀くとも三人の事項打合せの買っては彩票を現在の甲乙二組十五萬の事項打合せの買っることに内定れてあるが、右彩票増加ま他の事項打合せの買っることに内定れてあるが、右彩票増加ま他の事項打合せの買って記出十五萬の事項打合せの買って記出十五萬の事項打合せの買って記しては彩票を現在の甲乙二組十五萬の事項打合せの買って記述が、大力を表表している。 福民奬券の



第一回寶 三七弗 《分並 第一回寶 三七弗 《分並 人士 海 向 100大00 100七00 100七五0 

九千圓に達す

市

况

現物 110500 107000 10700

胃什人日限

にするほかはない

店開

日本橋通廣告塔東

引割

性內

に看護婦入用・

三七五六

出引寄 (四月八日前楊) (元石值段) (混合百斤值段) (混合百斤值段) 三次0 | 車

科

小兒科

アヘン、

モヒ

~ P

イン中毒

ふさん……わた類は 是非御用命を……!! \*\*一條題

商店

話三七二九番

春着

尺新

荷

ーシン!

1

取引小市况 7.00

¥ 3.00 -(ルテホトマヤ前) ルテホ際國 銀ンビルハ)街道三國外・ヤカスイタキ・ンビルル 著一〇八五表代話電

> 回 和洋百貨 荷 ンチング 金泰洋行 帽 子人



況

ギルリは木部へそのまゝ塗るだが出來ます。防腐力もあり、只今各方面に御賞用 あり、只今各方面に御賞用 を願つて居ります。 を願つて居ります。 満洲

ペイント・新京支店







ZX e XXX 自ラ 特約店

0

下に拜謁優諚を賜ふ

大 免官の身でありながら此陛下 の優諚を拜しで啡面目を施して (東京関語)人日駐日満州図 を使館に終る謁見式で一際目立つたのは最の立法院長趙永伯氏の原復に何候、五分間に国 が るが今日の個名に確かな告 にかへり燕尾服に突破を正しか ころを知らず、過ず後帰職 して を感激に調ませつつ たのかく ところを知らず、過ず後帰職 して ところを知らず、過ず後帰職 して ところを知らず、過ず後帰職 して ところを知らず、過ず後帰職 して して いんり ボール いり は いんり ボール いり ボール いり ボール いり は いんり ボール いり は いんり ボール いり は いんり ボール いり は いんり ボール いり に いんり ボール いり に いんり ボール いり に いんり ボール いり に いんり に に いんり に に いんり に

十分大森の自邸に於て感激した清浦臺晋伯は年前十時五した清浦臺晋伯は年前十時五した清浦臺晋伯は年前十時五

は東京國通ン八日午前九時頃 に東京國通ン八日午前九時頃 に一林づゝの美しい劇を持つ で首相官邸に熾然と現はれ、 再び書簡を通じ、その陳列方 を集めた國香會が全國會員か を集めた國香會が全國會員か を集めた國香會が全國會員か を集めた國香會が全國會員か を集めた國香會が全國會員か

國香會寄

日本に、大田野に、大田野・ (東京・ ) 1 (東京・

ねの英譽に信子未亡人は只感 午後三時の御豫定と承る一級が傳達さるる日で重ね重 た尚侍從武官御差遣は十三日人最高の名譽たる金鵄勳章功 激の涙にくるるばかりであつ

咫尺に拜り

溥傑、潤麒兩氏

東京國通》 勝来滿洲國の中 型たる可き滿洲國男女留學生 六十六名は今日の賜謁に感激 しつゝ交々體る と、大十六名は今日の賜謁に感激 しつゝ交々體る を整下は實に御立派で、威 帝陛下は實に御立派で、威 帝陛下は實に御立派で、威 を終へて一度瞬間し、軍 被を終へて一度瞬間し、軍 を表たりを拂ふばかりでした あたりを持ふばかりでした あたりを持ふばかりでした あたりを持ふばかりでした を記事に関立派で、威 の高により奉天訓練所 に入り、後國軍に配屬され 見ぶ存分活躍する 気悟であ

支關係諸

問題を提げ

奉迎會出席後語る

入らずで約五分間ばかり久々の御話を申上げましたが 中間能やかな具帝の御姿を拜しお懐しき極みでありましたが又直ぐ演習地に引返す 強定であります 

在支鄉

の渡米延期

米政府の差金で 米政府の差金で 東京関連)米國勞働總同盟 

御入京以來天候良

恐懼の至りに

常をもつもできるから

榮に感激

堪えなかつた

査隊の活躍

一の「ウラルークツネファ

嫌地となり、ヒンガン製

八日夜歸官

合方面注視裡に 日支關係の平常化及經濟

の對支工作 の開音議出席の筈であつた北 市間會議出席の筈であつた北 下駐在の岩杉参事官は風邦の ため出席不能となつた の言に依れば、本年度に於い

**醫春** 這隨院入) 一四二六話電

高架級 包 便として 取扱を致します 甘栗を内地送りの 羊 杂节



[日四十月二十年九正大] 可認物便郵種三第]

## 朝

秩父宮、同妃兩殿下

皇帝陛下を御招待

仰くつろぎの御歡談

作報號 維維行 数 行 所 A A A

一卷

息.精酒

類

デオ放送

好で萬事好都合でありまし

と この後で曹武官が若い 単生差に胴揚げせられてゐた と言った、この後で曹武官が若い 東天に昇る旭日の様だ」と言った、この後で曹武官が若い 単生差に胴揚げせられてゐた に出席した満洲國留學生總代でれた公使館に於ける楽迎會 生魏君はその喜びを面上にた

ふは代々木原

地れてはに皇帝陛下と歌談遊 殿下と御猟ひで御待受けあら 「東京颯通」 天皇陛下の御 ばされたき思召しから八日午 世 「東京 颯通」 天皇陛下の御 ばされたき思召しから八日午 世 「東京 颯通」 天皇陛下の御 ばされたき思召しから八日午 世

せられ、御三方卓を関ませら れ御茶を召されつつ秩父宮殿 御入京以來の御威観等約一時 間に互つて種々御歌談、皇帝

シャンデリヤ耀く

首相官邸晚餐會

留學生護話

華麗と莊重の御交歡……

「東京園通」 御浦京第四日一九日は 天皇陛下随御の下に特命近衛師團閥兵式の奉行される日である、此の日皇帝陛 いたは陸軍御正裝も藁々しく下には陸軍御正裝も藁々しく下には陸軍御正裝も藁々しく

祭に浴しました、 皇帝陛下 におらせられまして 一同光 ける水入らずの歌迎會に親た皇帝陛下には公使館に於 の強果を齎らすものと深く 言得ぬ感激

浴しました、我々は今日ま底言ひ現はし得ない光榮に

す。に促進する心算であります。

た學生らし

行きます

日午後九時十六分품列車で吉

臨時閣議

「東京園通」米園福東経濟観 奈園長フォーブス氏、副園長 キヤロル氏、シカゴ糖 所代表ウイカム氏、シカゴ糖 が成まり、カガ素・ が成まり、カガ素・ が成まり、カガ素・ が成まり、カガ素・ のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 祭團代表五氏米極東經濟視 外相訪問 ら皇帝陸下の御動聯について 室に臨時閣議と開き鄭總理か

述べたる後日米經濟提携の電 武內課長等來京

大皇陛下ご御同列御閱兵

遊さる

事になるのですよ、然し

師に迫つた機様だ

其他土木建築諸材料商 新京ダイヤ街老松町

電話長二九二五番

五四四百有海路

顧問及鑑定貸家貸地管理

滿洲國商標登

中一の田

其ノ他右ニ關聯スル業務一般別越、荷造別越、荷造 國際運輸離新京支店 五〇一六 金剛選送火災保險代理、委託販賣、市內運業

皆様!永年の苦心が酬

拓務省計量の満州移民圏は昨

朝鮮放送協會が

補充入植

放送開始

で各単校教職員の轉動聯令を 新年度に際し六日附浦線社報 の本語では在満各中小単校の

日本朝野

奉迎を謝す

鄭國務總理放送

替相場

拓務移民

釜山放送局

我軍職の明徴を期すべし 数軍職の明徴を期すべし 数軍職の明徴を期すべし

古開

岡田兩氏

るで、大型を関連など、大型を関連など、大型を関連など、大型を関連など、大型を関連など、大型を関連など、大型を関連など、一型を表して、一型を表

合服ノ御用へ

銀市况

八日後場)

堂文編求

日語全壁觀読

七二〇頁點來五一〇〇等及本二一入〇

]華新辭典

**技術優秀** 

海洲國文教部社會教育科長理 事官古開亮氏、同科岡出七雄 氏は今回退官浦戯に復歸する ことゝなり八日暇乞抉拶に來 計した、因に兩氏とも近く鐵 路總局へ振过の豫定

連勝又洋服店 新京田場所

新京商業學校教諭兼舍監

育總監から

第二回植樹節を舉行するが、 第二回植樹節を舉行するが、 第二回植樹節を舉行するが、 年行ふるので實薬部、民政部 文教部、軍政部が主催者とな る、これに就き實業部林務司 を助へば事務官毛利富一氏は

全國軍隊へ

民に愛林恩想を養にしめるためであり、民政部には地ためであり、民政部には地る行政機關を通じてやつて方行政機關を通じてやつて方行政機關を通じてやつて方行政機關を通じてやつて東京から、中心人物が軍にあったものが社會の中堅にあったものが社會の中堅にあったら、中心人物が軍隊で養成されるのだ、それに勝なるだらう、中心人物が軍隊で養成されるのだ、それに將常で養成されるのだ、それに將常で養成されるのだ、それに將常で養成されるのだ、それに將常の方で必大傳宣にいして質ひたい云々

新京室町尋常高等小學校訓導 下任子 事演等常高等小學校訓導 に任子 自國尋常高等小學校訓導 に任子 自國本常高等小學校訓導 に任子 自國本常高等小學校訓導 に任子 自國本常高等小學校訓導 に任子 自四音士彦 特京西廣場尋常小學校訓導 に任子

**陸救護任三** 

安東省公 安東省公

公署理事官大林太久美

命州省公

編 編 記等(各通) 金 長

を を 変 期 係 の 関 任 の

器理事

語大 教阪 授外

翠著東京本海區文求堂

**安東省公** 

等(各通)

理現物 一大月限 三、至三、至二、車 一大月限 三、元、三、三、三、三、車 大月限 三、六、三、元、二、車 大月限 三、六、三、六、二、車 十二日限 三、六、三、六、二、車 十二日限 三、六、二、車 十二日限 三、六、二、車

―天皇機關説に開し―

天皇機關設問題が日本國體觀 大皇機關設問題が日本國體觀 す影響の重大なるを成り全國 電験に訓示を設することに就 に於ける師園長會議に於て訓 に於ける師園長會議に於て訓 に於ける師園長會議に於て訓 で發した、其內容は相當長文

は、以来個人家屋建築並に營農準 の 入植せしめることゝなつた 図 入植せしめることゝなつた 図 入植せしめることゝなつた 図 八日 教質を天草丸にて の月二十六日 教質を天草丸にて の月二十六日 教質を天草丸にて の月二十六日 教質を天草 丸にて殴、二十八日清津着 三十日ハルビン着佳木折入 を 一一一十名

本 大として決して人数に落ちれた。 本 人として決して人数に落ち

綠化運動

0

重要意義

范家屯等常

第二回植樹節

世で、一般のでは、一般の

路州省公路州省公

響事務官

綿州省公署理事官 \*\*\* 社

説

の貿易

の傾向等 特に事變後

現まとして職入貿易に於いて 現象として職入貿易の顕進に 現象として職入貿易の顕進に

55

は、日本質易の酸膜が濃厚化した。日本品は顕著な進出をした。日本品は顕著な進出をお外市場依存が日端ブロックのみでは代位され得ぬことを

様相を終来するであらう。 総行は、貿易の上にも異った は、貿易の上にも異った



▲すちとは場中ト 本の肥明所は名氏

決 支

定 那 版 晤

维出

づ臭

すが、十四年前に中耳炎を 情しましたが、完全に癒り ず、翌年導常四年の夏休み に 根本勝大で大手術しましたが、夏休みも過ぎたし日 に 根本勝大で大手術しましたが、夏休みも過ぎたし日 で、通ふ事になりました で、通ふ事になりました で、通の内に九分七厘 どころまで癒りましたので どころまで癒りましたので で、五まで癒りましたので ところまで癒りましたので で、また翌年になるも、腰 知らせ下ははなって、地らかってるというからせ下

總發音付

八後に落ちぬ

范家屯等常小學校訓導に任ず等(宛家屯分数場動務) 郷(宛家屯分数場動務) 高島 賞高島 賞

新志と

したが新京開係の分は左の

寄株式(短期) 寄株式(短期)

新京取引所市况 (四月四日後場) 物(一石植段) 物(混合百斤植段)

著翠上井

商屋

內容且本難品

行所

知識でナ

は今日からは貴方の 者者が三十年の薀蓄

総革製

インデイヤ紙刷

コンサイス型

八一六頁

料 下館事領通日朝 〇一六話電

廣告の御用は電三三〇〇番へ

東二条艦角(西电二七六四

朝日通一五五

(金大田八〇)

田來高 元八萬
田來高 元八萬
●大連野票銀大沖
現物 116英西 110400
現物 116英西 110400
本天國幣對金票
現物 116英西 110400
本70月十三日報
110400

電話(3)四九八七番

凡欲研究日語及日文須讀本書

風專工場 新京外導子南沿街二二

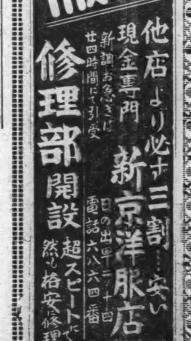


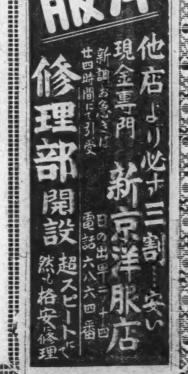
医學博士 饒村佑

前田常









分會長 各科長及各縣長

**電燈化計劃** 

電業書

健事館朝鮮係では奥地農民契在管混成第

態氏へ申込まれたいと

相當量に上る

**郷課長小澤宣議氏に決定し新氏決定、古川氏の後任は現港** 

京楽と沈張 巻き 吉野町一丁目消防験裏通 にしきや京染店 のでは、一大五九〇世 のでは、一大五九〇世 のでは、一大五九〇世 のでは、一大五九〇世 のでは、一大五九〇世 のでは、一大五九〇世 のでは、一大五九〇世 のでは、一大五九〇世

電氣治療 幣病輸出大阪田二十千治族院 物果絕大

家屋

前會教光金四五週條一東京新社 成 萬

電話

哈爾賓旅館機

る、一人五十銭以上、希望者 **報起人となり回掌を廻してる**  南

滿

題呈すること」なり下條内地 市は同校長病氣のため爰別宴

日 同 百分の二 一百分の一

ことになつたが在龍内鮮

親排金を支出することとなっ

現地には水材の滑貨が相當多

あ

\$

WECK+高橋療院

土地

金純

高間買入廣大

告

其引市內海 他越內地陸 一尚運仲運 般物搬繼輸

御用命下さい。低廉に選叕致します

機、鄭士斌、安戦厚ら諸氏が人民會長、岸田病院長、朴東

本材機出 三音分の 悪性官 同 音分の 悪性官 同 音分の 三道溝地方の

安東領事館管内の勝兵上校郭岩器・協及と校郭岩器・協及と校郭岩器・協及と校郭岩器・協及と 鮮農々耕資金

展東都督府官立南京書院を本 が親補された、因に同少將は が親補された、因に同少將は

異常な期待に躍る

本年度哈市土建界

の競表を見るもの競表を見るもの

WIC作ふ大異動や街豚長に決定

田工務各課長と

白井所長、庶

職長は高澤公

除政婦 新京醫町二丁目二七 新京醫町二丁目二七 新京醫町二丁目二七

各官廳豫算の立案に専心す

さる

閻少將親補

氏の埠頭長は帰

V

目丁三町墊三

京 新京職業紹介所 東京 人 求職 は

開東軍御指定旅館

ナショナルホテル

合能資地股街――九 電話 三二九八 書 三九四 〇 商業中心地 交通至便 斧式各室大十餘 室内電話設備 温水服房 和評陶食

お買ください

安くもなし

等は十一萬國で安東金融會が を全間太いに擴張されたので におい、安東領事館管内の資 加へ治安工作の趙揚とともに にの農耕資金は全議に亘つで なり九年度の八萬國に比して の農耕資金は全議に亘つで なり九年度の八萬國に比して 本年度は十一萬圓 業後軍籍に在りて東邊道治安 機構に任じ太同元年澤天省警 機構に任じ太同元年澤天省警 機事の設立されると共に副官 長、牽架後第二地區警備司令 官を補佐し敏腕を振ひ脹德元 年三月卅日附を以て少將に昇 地した人で特來を期待される

熱河省の苗木は

ざつビ八十 ▽各縣へ配給の手筈決定△

酸一面六十七銭五厘と寄付い小麥休日明げ小麥市況は五月小麥休日明げ小麥市況は五月

科 告 牌 ◇◇◇◇ 十掲十五被三 総設行 報日一行 行 料指属一一

金定金四周回 能进名而金金 企名而五八三五 业十十十 个链线线通

電話二七三六番

案內

んまは

哈爾賓銀座通キタイスカヤ街の中心

**亚基五三〇一 六二一六零** 

洋室和室設備完全

**清** 演 天

特別廣告

株式現物問屋

夏生を希ふ失薬困窮者の相談 東三馬路無線蔽下職五七三六

ハルビンデ御泊ノ節へむカッ 寛ゲル静カナ鉄切け旅館デ

純日本式旅館

恰爾賓埠頭區二堂青二四

電器三六八八番

種

(街ヤイダ) 目丁一町梨永京新

各

…品級高

旅

和門病科

视町一丁目二章 配話。全篇

郭文 3

ハルビン忠靈塔の

建設計畫成る

結氷期までに完成

底壁き商狀を呈し筋騰を辿り安値を見せたが前途品掠れに安値を見せたが前途品掠れに

新京東一條通四六

チ

御總職なき方のために投資案 御總職なき方のために投資案 東一條通り四大ノ三 東一條通り四大ノ三

南游别娥道株式會社

貓洲採金株式會社

ハルビンモストワヤ三號

数 節 六〇一〇巻

发油混米

田

商

**收档二九三三卷** 

帝都キネマ

粉京大和通四七

株式の賣買に

中央銀行在動)

は二十萬職で懸々本月下旬よるのの ののの選工し本年解氷期迄には完 のでは、ドラストでは、一個人の必要が反 のでは、「一個人の必要が反 のでは、「一個人の必要がでし、一個人の必要がでし、一個人の必要がでし、一個人の必要がでし、一個人の必要がでし、一個人の表 のでは、「一個人の必要がでし、一個人の表 のでは、「一個人の必要がでし、一個人のでででし、一個人のでである。」 のでは、「一個人のでは、「一個人のでは、一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」では、「一個人のでは、」」では、「一個人のでは、」では、「一個人のでは、」は、「一個人 の市況ビン

感慨無量裡に歸國

新

進委員會が設立された、同會で割省長を會長とする綠化促

二月中旬の成績 にヘルピン酸)三月中旬のハ 大豆休日明け市況は五月限一 大豆米田 園九銭五厘の安値を見せたが ルデー氏他佐原局長、日満名 大連輸出筋の大量長夏に入 寛室に於て時間幹部を主賓に を大連輸出筋の大量長夏に入 寛室に於て時間幹部を主賓に を大連輸出筋の大量長夏に入 寛室に於て時間幹部を主賓に を大連輸出筋の大量長夏に入 寛室に於て時間幹部を主賓に を大連輸出筋の大量長夏に入 変変に於て時間幹部を主賓に を大連輸出筋の大量長夏に入 変変に於て時間幹部を主賓に を大連輸出筋の大量長夏に入 変変に於て時間幹部を主賓に を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連輸出のでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を大連に入りのでと を表すると を表する を表す 

在 々木 校長 体 大 校長

小澤氏に決定

簡易宿 道具。店

電話 賣買金融電話用達部

本新日





















錦

4

n

經營



成株式會を表して、一般である。

生徒募集



0

廣

告

0

命

電話

三三〇〇番へ0

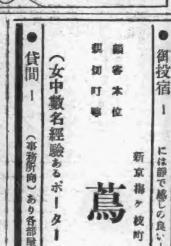




あ

\$





には静で感じの良い 一名至急人用優遇す) 屋 二二四番

(事務所向)あり各部屋

を御器び下さい・ 55 大阪商船出机

店

明治十三年

新京支店

**新京東三**作

野

酒

店

鈴木龍子主族石田毘三監督オールサウンド版

石田民三監督

圭 

金州、奉天、公 大連市信濃町

九仲運輸新支店

日大公開

に大きい皿を描いて廻った大きい皿を描いて廻った

つけること、物を大切にする

廻つてるますね、すると火 のでそう珍らしいことでは ないのです、それは地球が

化事なのですからよく遊んだ です、併し自分から進んが何 です、併し自分から進んが何

いつて叱りつけ

意無地がない

はほんとにつつし

落ちつくのを持つて豚かに間

ボーオデサンワマイレーバンウチエカエルトオマエノワルサラキクノデ

グッテオカシクッテ ニョーガ ナイノヨ

は子女に許さ

、何處の子供がいじめた

日服毒自殺を計つたが未遂に

殺を圖つたかと聞けば現代人

三月二十六

する、とあつた、人が何故自 でもない、生きて行くのに非 でもない、生きて行くのに非 でもない、生きないを以て解決

てある、それがいやになつた と答へた由、同人は明星影片 公司で「郷愁」に出演、それ

支那映畵界に 自殺が流行る

「無愛與義務」も好評であつ

「一剪梅」「玉堂春」「三個

た、後女はこれより私生活に おいて甚だ奢侈となり二十三 年に彼女は張に雕別を求める に至つた、そしてその後も男 性との噂さ超えず最近は唐と 共に住んでゐたものである、 その出演した主な作品は上述

モラオマエ/コトデー クジョシワキキタクナイ オボエテイナサイオギサ クションカッココノウチ19イ

ソノッパがンコ

S.

ニテタノ

東京那の映記玲玉自殺後聞

0

個情的な交際樂を蹇でた結婚猫の青春の様に日夜を擧げて

つたエクボも催逝も眼につく

様になる丁度どんな美味な料

理でも毎日操り返されたので

利說的住宅

**帶染みて性格も我儘な木地を生活も月日が立つて主婦が世** 

た一同は彼女が醉つてゐたと くの女友鑵と接吻をして別れ

服

0

大時経命した が付かず翌朝それがわかり醫 がを呼んだが效無く、その晩

最後のキスを求めた、遺書をかくした後唐を

唐は彼

生」といふ輓跡がただ一つ指 げられたといふ、其は南京の 「駒志月刊」からおくつたも ので彼が主演した名作「人生」 と結びつけたものであつた彼 女は廣東人で幼にして父を要 ひ母と共に上海に住んだ、民 関十六年張蓮民と結婚、この

滿洲中 央銀行

した後唐を呼んで

**愛人があつた彼女は服毒してのだ、彼女には唐季頭といふ**が彼女が告げた訣別であつた.

のは的二年目に一度はある

くなります

まだ

一年生ぐらるの

「味方となつてしまはないで、

大學式もをへ、いよく単校 へ行きはじめると急に緊張し て親は何とかよく躾けをしよ らと思ひ、子供もこれまでの

行くものを考へて整へておくといふやうなことは假令子供い癖をつけるやうに、友達として、そのよいながない。

汁をかむこと等いつも注意し と、瓜を剪つておくこと、鼻

てるる火星が來る十三人れわれに一番親しみを感たけでも無數の星の中

が想像されて來たのは火星 い、だから地球がまだ人間 い、だから地球がまだ人間

表意でもなって

ではなるたまに

いと云つても和装が いと云つても和装が になるたまには洋

接室がある。

帖大の洋室の應

接宝へ大雙金を

應

嫌になつて終ふ。

えてゐた、だからかなり昔

### 四月十三日が 星が いては、一般的には興味のわけです、火星の問題につおけです、火星の問題につおいたがら二年 一番接近する日 果して、棲物が 家

あるか?

に人がゐるといふやうな事。 ないのです、これまで火星 ないのです。これまで火星

との事で ひく 盛んになりませう りませんかられ、しかし追りませんかられ、しかし追

あつた

記者が内地では素人による星 記者が内地では素人による星 が、満州ではと訳けば んね、條件は空氣が澄んで るて非常にいいのですが、 → 「宝」 △甘藷の甘煮 回にして、暫く水に 関にして、暫く水に れ蓋なし です、毘布の佃煮を でゆつく

アライ鍋に胡麻油を少々引き響油に三十分ほど浸け込み、豚肉は薄い切身にして、生姜 ながら、よく燗きます、生姜汁をよくきつて、上下に返し は豚肉の臭味を消 豚の油いため煮り その の生姜

大起三杯、味の素少々を加へ 大起三杯、味の素少々を加へ 大のばします **庖丁でとんとんと叩き、一寸水で茹で爼の上に取り上げて 皮の長さに切つて、糠水か白** で頂きます、胡麻酢は胡麻をくらるの長さに切つて胡麻酢 △たたき牛蒡==鍋に入る程

まが

切

な躾け

0

期を外さ

とように

和樂主義生活の様式にある夫婦があつても社會と文化にその根底をおかねば即ち昔しも しいと言ふ主義こそ人目に樂 しそうであつても空虚な生活でしかあり得ない管だ。

に立つて任命を考へてゐるこ家の直接の經濟的な私益の上 に都合良き條件の本に資本 れが建築に於てもあり得る

とである。

が從系の議洲文化住宅であつが從系の議洲文化住宅であったから斯ふ る勿論天勝の魔術ではない。 とい面積のものに變へて見せ 持つてこの平面圏をもつと少 で主婦達の理想的平面圖の典たこの平面圖は從來の平面圖 今念力を

座」

山崎忠

主婦選と共にこの平面園を研 でして行かなくてはならない この住宅の坪敷は三十五坪で 念力であ

一大に 研究して行く間 いの複がどうのと言ふ單なる便不 窓がどうのと言ふ單なる便不 の東 がどうの出

にしろ矛精にな

も何の利用も 難になつても 母親が己の分 そして腹接室 ず子女のために して室は少し側 あり延長で

子供を立派に 子供を立派に 神は不良見を 行為こそ主婦が 5又は積木細工に5又は積木細工に 作らなかつた

がして行かな の天真素質本 なくてはいけない 本館をそのまま生 するには常に生 大家は腐螺作用によって最内酸化 変に整にし、甲状腺内分泌液の貴 を旺盛にし、甲状腺内分泌液の貴 すので、卵二閉三期悪重能線薬の すので、卵二閉三期悪重能線薬の で治癒を軟化し、特的整動を吸收し で治癒を軟化し、特的整動を吸收し で治癒を軟化し、特的整動を吸收し 免疫素の増殖も



(りあに店架名有員全) 丸掃毒用症重

ひ先潜えて依 慢性梅 小見たい

初期梅毒 

样文明の爲に甚だ愉快な事ではあに贈目して研究しはじめたのは東 紫と、骨質改善の貴重生薬との合 沃素療法上許さるべき最大限の沃 重症用毒婦丸

梅毒治療に缺く事の出來ぬ



入院往診 日曜祭日午後休





て又ほんの少しでもからだに 障りのある子供例へば耳が遠 いとか、眼が近いとが、足が 悪いとか、手が不自由とか、 その外特別癖のある子供とか は、きつと受持ちの先生に話 味があり、人間 文化の洗れに棹 生活の向上と B 帖 鬼棒堂 省宝 便 結大の室に相當 が大の室に相當 階級の人の新生 な金を掛けて「 見ると客の便の

がないではあ がないではあ 本小説を飾る なますまい。 来客の数人が 符たら山ほとゝ

老へでは凡て 話しをしてゐま 東京晋頭の

字は茶の間に 験に花を

に應接室でもあ

は順じ情調し、交共主、放置 しのつか山事になるのである 此下俄や横痃は、手當をすれ 潜伏期を

といふ「府気が外に現はれな い期間」が度々ある。此期間 全快と誤認するな

中は、柳野病原體スピロへー 中へ「セッセ」と喰ひ入つて タは野々の血液や細胞組織の 思くするのみである。 解返して 雪ふが、潜伏期と歌さり縮る空間間しなくてはならない 次して治療を中断してはならな 全く有物無益で、只開系の性質を そこで治療をしやうと決心した 休みなく態心に、すつか

體毒を排泄する

初期梅毒の 次に來るもの

食物が進まない等色々な内科的の

よく考へて見ると、概い動が低

とか、頭が重いとか、成は

際でも知つて層る例で、急い機技は極軽の初期といふ事は 硬性下紙(かんそう)や無衛性 で注射を受けたり、販票をし で見遠してはならぬのである。 ある人は、之等の無い症状を決し

潜伏期は

旺盛期即も、梅毒が外面に明瞭に 治療に都合が良い

ある、彼に不充分な治療を、間を置 いに酸弾し困られる。 現はれて唇る時と湿つて、 い」といふ特性を持つて母る事で らぬのは「梅毒菌は果に使れやす くなつて目るので、乗の効果も大 いて時々思ひ出した機に行ふ事は 只否々が殊に響戒しなくてはな



梅毒芽生えの時 00 手當は今が一番ク 0 0 新學期の 學用品具 なら 來御

スピロヘータは躍る! ターへロビス

却つて醫學常識を歪められる

大問領です。

誤りがあると梅毒の治療上に こんな惨害を招く

氣

持よく

花柳病科

が開発を表する。

習師町三丁目紀念館前 堂醫 院 のは三十十二十

加賀田マエ

重新人科雅任 免許 重要

吉野町の 「御壽司」の御下命は! 御底行ー野遊には當店自慢の松前壽司を!!

電話三二八三番

所の最短用番掃丸は、其製能力と 無数力との関作用に使て、テルヴ 非数力との関作用に使て、テルヴ を重べ選組

「出前迅速」

ŧ 僕通田中ビ 意 L は かっ ル前 電話

西店

たのでかしてやりませんがゆ のたこをかしてくれ いたこをかしてくれ

きて、よ

かかいいひょこがなくよ かわいいひょこがなくよ かかいいひょこが

白菊校一ノー タイゴツコ

サクマタンガアレラキイテ ¬ タノデ、ミンナススンデイキ マシタ。

西原場ニノニ

小野里悅子

林敬

學

校 兒

童

作品集

それでぼくは一しやうけんめいにおひかけましたがどつちへいつたのかわからないのでたこのやぶれたのがあつだのたこのではないてかべりました

白菊校四の三 大さいますので、それにつれて皆一せいに超きる事にして と、お母様がベルを鳴らして で、それにつれ

ウサタレ ニイガン ナト中タ

たこあげたとなった。そしてうちにかっておもちをたべて、又た

を の 種 で の 種

居ます。 それからラジオに合せて、ラジオ体操を三十分ばかり致します。いくらねむたくてもねどこの中にもぐりこんで居ても、東京から放送して居るあの元氣な体操の號令の際には

株な内容を持つてゐる、観方 能な内容を持つてゐる、観方 によつて如何とでも解釋出來 によつて如何とでも解釋出來 によって如何とでも解釋出來 をつてゐない、色々な暗示を に色々な人間の生活の設計を に色々な人間の生活の設計を にもっない類み所のない其處 にもっない、色々な暗示を にもっない、色々な暗示を にもっない、色々な暗示を にもっな人間の生活の設計を にもっない。

らい、作品である、由良武日ン暗澹たる當選作として 讚みづ

私の家の朝

させる。

全館を厳ひ襲して、一體像た

人のもとに詠みし遺し待り の白玉(西行) の白玉(西行)

りなきも思ひしとけば夢に にはこれらをも含めての一貫 しの白玉(西行) は都そのものに自己を関れし をしたのではなく りの白玉(西行) は都そのものに自己を関れし が しんの中にかしこきこともわ 作ったのに對して彼の歌全体 して、そこに表現せられたる にはこれらをも思ひしとけば夢に にはこれらをも含めての一貫 していきも思ひしとけば夢に にはこれらをも思ひしとけば夢に にはこれらをも思ひしとけば夢に にはこれらをも思ひしとけば夢に

世の中にかしこきことも

な笑ひではある

てある、それであて仲々複

女闘士に描かんとして、一人の

か上げてゐない、どこに新人 の新らしさがあるか、どこに 春草のような成長力が覗はれ

心靜かに北窓閉く且哉

のの混戦を示してゐる

甚だ無批判にしか此の作をと

十柿會吟草

うでなければならね、然しなそして女は男よりよけいにそ

ー上ー 桑原聴一さてもこはいかなはすべき他の中に有にもあらずなきにしもなし(四行)大乗作中道歌歌せの中は鏡にうつる影にあれやあるにもあらずなきに

感情を録ぶと共に他人のそれ

生活の 評 設計

出てゐる住品である、ルピッチの風格が全面的に押 しい、作品が生れ出たのかも知 れない、この内容をくそ真面 れない、この内容をくそ真面 れない、この内容をくそ真面 れない、この内容をくそ真面 れない、この内容をくそ真面 たい出れないが洒落 とり扱つたら、ひどく退 はなものか、そうでなかつた ら風紀を素覗する大變なもの といるがである。 スマートで、皮肉 エルンスト、ルビツチ作品 が、簡單なダイアローグの妙味は見てゐると完全にルピッ味は見てゐると完全にルピッ味は見てゐると完全にルピッテの創作の様に思はれる、ミリアム、ボブキンスもゲーリーとのものを望むことは無理であらう(N生)・

陛下御訪日 ス句會 新京ホトトギ

春饒の率途國族融り

源質朝の生涯ご金槐集

トタの賞を受けた、またカレートの賞を受けた、またカレ なほ健在なるを知る

文學史を書いて大統領マサリから一八六一年へのチェッコ のチャペック兄弟ョゼフ 人にて訴訟人の歌き申すとあていけり、さて常に申入られけの時さると事をは易々と叶と申されけるを「承候ね」と申されけるを「承候ね」と申されけるを「承候ね」と申されけるを「承候ね」と申されけるを「承候ね」と

安には個別別なくてかやらに仰られ候事心得られず候、國の らょかに御別なき事に候、自今 政には個別なき事に候、自今 政時大臣夜中計に健に壽福寺 へ入御有、……大臣腹左右な くと仰せられけるは「師こ そ弟子をば勘常する事にて 候べき、申たる事を選へじと したる罪障いかよして、勘當し奉 もたる罪障いかよして、勘當し奉 もたる罪障いかよして。 したる事にで にでき、申たる事を選へじと とてはらくと泣給ひければ恐 御非贔騙御子息者、於凡人不 に語つて『於當代無指勳功而 に語つて『於當代無指勳功而 に語つな『於當代無指勳功而 可有比機爭遲嬰專積殃之兩億 給予』と暗宗的の評を下して に於ては を受けた實朝は『諫諍之極尤しの前にあつたかを想像せし ひる、一兩日後に廣元の忠告 保四年彼が中納言に任ぜら **観的にはさうであつたのであ** たには疑ひない、彼が將軍と さしたる動功無く」とあるの

はり

が一番だ

然石川吟醸 優等清酒 電話四八七〇番

られてゐるチェッコスロバ

「蟲蛇の生活」や「人造人間」

としても質朝自身を保護する そのものは既に安定であつた そのものは既に安定であつた のあり との歌は宗教的情観を感ぜし める質生活の表現で彼の歌の 特色かある

中や喜ぶ者あればわぶるもとにかくにあな定なさ世の

百一の楽送砲や琴譚 日本へ行幸なす日や春霞 川崎佐知緒 リ島 如水 三堂 ※なき観着を待たむ花典

を存じ給へり、法印慈悲深き を存じ給へり、法印慈悲深き

事實そのものは吾妻館にある からこの記事の賃實味は認め らるべきである、『忍びかね て参たる』とはよく質明の人 格をものばしむる『世間の様 は一人は悦べども一人歌く事 あり』といぶのも珍らしい言 ではないが、政治家として實 ではないが、政治家として實

心の没める」歌と親

學熟

龍東

春風に櫻の國に酸たれます

田簔盛の没著が來た れ自分の持場所をおそら労致 します此のおそうぢをすまさ ないと御飯がたべられません 第も四才頃から朝のおそうぢ は毎日して居ます。此の朝の おそうぢは、私の家の習慣と なつたのです。 なだけです。一年生の頃はそ て、お顔を洗ひ、御飯を食べ るだけです。一年生の頃はそ られ、時政の後窜敗方一眛のなつてからも畠山重忠謀殺せ 一株の春闌友に分ちけり ニーベル・で春の心となり ましたが、やはりこんな事をれがうらやましい機な気がし がきまつて居て、毎日それぞ

素晴シイ流線型小型自動車 大量生産ニョル純國産優秀車 1935年 / ダットサン

車庫ノ設備ガイリマセン

**経費ガ非常ニ安クテ濟ミマス** 

賈



スタイル… お早 200 12 御殿路下 雅 0 魁 目丁二町野吉 店服洋田橫

彩 4 0 な「 故 ... 11 0 ... VI 大東 阪京 掛二二九五點電 二町曙京新

速度 学 機 全機械カラ依ル大量生産ニシテ 價格低廉硬度高了破損絕與 整型一定仕上り整美吸水率極少

武道县製造卸販賣新京百貨店」階三號新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場新京立人工階入豐東工工場和東京

の廣告の 御用命は……電話三三〇〇番へ

房

0

大阪市東區北部 誠昌堂藥房支店

百五試 十球入 瓶



製特局賣專檀白府政度印

## 治療法を 變した細菌學說

人類の大膓內が、無數の細菌の巣窟であつて、種々の障碍、原法は一變の時期に逢着した。即ち腸內における有害細菌の繁殖活動を抑制する爲に、有益原法は一變の時期に逢着した。即ち腸內における有害細菌の繁殖活動を抑制する爲に、有益原法は一變の時期に逢着した。所し乳酸菌は、その生活力比較的薄弱にして、應用の範圍も亦局限せらるゝ憾みあるに鑑み、今日の治療界を風靡するに到った。所し乳酸菌は、その生活力比較的薄弱にして、應用の範圍に代ふるに、生活力强靭にして、應用の範圍廣きへ」フェ萬製を以てしつゝある。

## 胞賦活作

するの勢を示しつゝあるが、本劑の最も特色とする處は、唯に膓以來敷年ならざるに、日本はもとより今や世界の治療界に雄視若素(わかもと)は最も代表的なるへーフエ菌劑として、出現

### 0 全 面

・ 此等複雜多岐なる胃腸疾患の症狀も、病因の根本に立到れば胃腸粘膜を組織する細胞原形質の衰退、もしくは異常の一點に局著し腸内菌の作用の如きは、結局腐粘膜衰退の爲に惹起したる結果的現象なるを知る。胃膓粘膜の異常を足へ來つて、その即る症狀の共通病因たる、胃膓粘膜の異常を捉へ來つて、その即ち本劑の作用は、總合的、病因的にして、効果は持續的、全面的なるを以て、他の化學藥劑におけるが如く、連用するも配伍して、却つてその副作用を輕減し、効果を確實ならしむる配伍して、却つてその副作用を輕減し、効果を確實ならしむる。 と特長して、却つてその副作用を輕減し、効果を確實ならしむるとき長した。

## 性衰弱胃腸壁の強化

結核菌の溶菌素

治療

法の

4

相

結核の治療法としては、従來種々の藥物療法をはじめ、或ひは大氣療法、或ひは理學光線療法、或ひは外科的療法等の出現を見、各々特長を有すと雖も、未だ最後の斷案を下すに到らずを見、各々特長を有すと雖も、未だ最後の斷案を下すに到らずも、これを實際に應用する時は、効果の所期に反するを常としも、これを實際に應用する時は、効果の所期に反するを常としも、これを實際に應用する時は、効果の所期に反するを常としも、これを實際に應用する時は、効果の所期に反するを常としも、これを實際に應用する時は、効果の所期に反するを常としも、これを實際に應用する時は、効果の所期に反するを常としる。これを實際に應用する時は、効果の所期に反するを常としている。

## 用による總合療法

内の有害細菌を抑制するに止らず、その包含する貴重なる築養内の有害細菌を抑制するに止らず、その包含する貴重なる築養素の集績と、活性酵素、ホルモン、ビタミン等の綜合協力になる細胞原形質賦活作用Protoplasma Aktivierungを以て、全身の抵離に及ぶを以て、病型すこぶる多岐、最も多き胃腸カタルを始めとして、胃酸過多、減酸症、胃アトニー、胃擴脹、身ルを始めとして、胃酸過多、減酸症、胃アトニー、胃擴脹、身ルを始めとして、胃酸過多、減酸症、胃アトニー、胃擴脹、身ルを始めとして、胃酸過多、減酸症、胃アトニー、胃擴脹、身ルを始めとして、胃酸過多、減酸症、胃アトニー、胃擴脹、身ルを始めとして、胃酸過多、減酸症、胃アトニー、胃擴脹、身ルを始めとして、胃酸過多、減酸症、胃アトニー、胃擴脹、りて見ばれ、一症候、一病變を對象とする。

若素(わかもと)に代用薬なしノ が、若素(わかもと)は數多種類あるヘーフェ菌あり、若素(わかもと)もその例に洩れず諸種の類似薬が夥しく現はれ、その取文販賣の口種の類似薬が夥しく現はれ、その取文販賣の口種の類似薬が夥しく現はれ、その取文販賣の口

は いの対果に で、外観形態は類似するとも、その効果において本剤と同様な で、外観形態は類似するとも、その効果において本剤と同様な で、外観形態は類似するとも、その効果において本剤と同様な で、外観形態は類似するとも、その効果において本剤と同様な で、完備せる大規模の製造設備の下に製剤せるものであっ として、完備があるが ないの対果において本剤と同様な で、の対果において本剤と同様な で、の対果において本剤と同様な で、の対果において本剤と同様な で、の対果において本剤と同様な のであっ





置・五歳前後には五十日量・三歳前後には六十日量に置る三十旬にメノには廿五日量・三歳前後には六十日量に置る

發賣元・日本東京市芝公園

鑑楽養と育兒の會 振春口座東京一七〇〇香

D、E、諸種のアミノ酸、レチシン、グリコーゲン、鱗、鐵、 で多角白血球を増生して、結核菌の喰燼を圧盛にする。 若素(わかもと)の効果はすこぶる多面的であつて、之を表場 たる思體の榮養を増進する方面より見れば、ピタミン▲、B、 とる思體の榮養を増生して、結核菌の喰燼を旺盛にする。 はる思問の栄養を増生して、結核菌の喰燼を旺盛にする。 をなす。 特に近時結核菌に對する抵抗力を强化する上において、缺く

有量は、遙かに他の榮養劑の群を拔き、同時に含有する活性酵 べからざる要素なる事を證明されたる、ビタミンB複合體の含 ホルモン等の諸要素と相俟つて、著しく體力、抵抗力を増 病竈の擴大を防ぐ結締組織の新生を促すに到る。 胞の再 强

世界の特長を総合兼病方向を指示するものと云ふことが出來る結合を有し、総合的なる無抗力を以て、病因を壓倒するにある。一個の有機的生活體として、所属の為に、一個の有機的生活體として、病菌の為に、一個の有機的生活體として、病菌の為に、一個の有機的生活體として、病菌の為に、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、一個の有機的生活體として、方に緊密など、方に対して、方に関係を表情である。 種類の貴重なる成分を集積し、 れば正に劃期的の存在ともいる事が出來るが、本劑の最大の特種類の貴重なる成分を集積し、從來の單一成分の榮養劑に比す **岩素(わかもと)は単に榮養劑として見るも、** 前述せる如き多

ある。

組織細胞をも破壊する惧れありて、用ふることを得ざるが爲でるの途なく、偶々此を透過する如き强烈なるものは、健康なるド質皮膜に包まれ、襲物光線等も此を透過して、病菌を殺滅するし結核病電は多く深部にあり、結核菌自身强物なるリポイ

溶菌素とビタ ミン日複 合

新生物製剤 若素(わかもと) は、その組成中にリボイド溶解

九日臨時休業

**可能式 № 単行値 ちに 投業** り 断入 學生子二百 大十 験 何智學校では 入日 午 後 七

來る十日學行

中學、商業の

事項を整へ出頭されたいと 学式は十日午前八時よりへ商 保護者は定刻前に保護書及び 保護者は定刻前に保護書及び を受けるれるが新人學生の を受ける。 をしているが、 をしているできない。 をしているが、 をしていなが、 をしていなが、 をしていなが、 をしていなが、 をしているが、 をしていなが、 をしていなが、 をしてい

十一日來京

全國各府縣代表を以て派遣される愛國館人會代表一行十五名は十一日午後九時來京の豫定で新京婦人國体聯盟並に愛定で新京婦人國文部では、一行歌迎のため専ら斡旋の夢を収ることになつた一行は十四日までとになつた一行は十四日まで

本年十月アメリカで関際空中競争本年十月、アメリカに於いて

解氷期に共に

殺倒

して來る

内地商工業者の照會

# 旅客に利する便益多大!

富士町頭道灣郵局では皇帝御一追加分到着

南行の確定

御訪日切手

太陽県軍事劇 ラジオド

役員總會で決まる

十一日より來京の太陽幽の軍十日夜、七時二十二分から新京放送局を通じてラデオドラマ一國の光人の妻一この放送で第一際をあげることになった、公演會費は大衆的にといふ意味で軍大會各分會では一た、公演會費は大衆的にといる意味で軍大會各分會では一た。公司の顧州券を請賣中であるから、利用する様とのことである。

京線茶條溝で

ラマ放送 

に常任幹事らを招待 が開委員長として九 が開委員長として九

ら各位はそれん は臨時休業する事となつたか は臨時休業する事となつたか は臨時休業する事となつたか

貨物列車襲撃さる 機關手擦過重傷を負ふ 帝國榮養研究所獨得の炊事法 管主食御飯の炊き方を始めい 常主食御飯の炊き方を始めい 常主食御飯の炊き方を始めい 炊事法實演

奉天經濟界好轉に

柳樹河驛轉轍手 「本天図種」率夫城内に於けて前月に比較すると五軒を該別を方の一月中の開業者六年五百六十七軒の多数に達した五百十三軒の激音がありである、骨加の原因は率れまりである、骨加の原因は率れまりである、骨加の原因は率れまりである、骨加の原因は率れまりである。骨加の原因は率れまりである。 紡績薬等が多い、資本金は千新古衣店、洋服店、針織薬、新古衣店、洋服店、針織薬、 

每週中央通 教會で開催

聖書研究會

ゴガクイイイタホカサアム ルセ イ 1 ガョブ マエ タ ボシ ラ

諸七養倉に死の大 時に発生を表現の

員組 粗吉太 合會合郎郎同同キ

た用は 親族總代 関しいのの番 山松小渡大野 内田野邊村津 恭太芳才九三ツ

く聽に街人蒲 消費組合そこのけ 大道の百貨

ベートメント、ストアである
ボートメント、ストアである
おそるべき、大衆のための消し
おもはづれの方にこれから配
大道に一まさに地べたの上に
店をひろげた最下層民衆向き
の百貨商は健摩ましますので
ある、老ひた主人衆番頭先生
はゴミよけ興酸掛けてだまつ
て立つてゐる、行きずりの満
対けて行く配者は問ふた 小盗見市場のはづれて 銭ちら代物でてんであきまへ

「怎麼寶?へいくらだ)」 「怎麼寶?へいくらだ)」

工票五銭を持つて立る 田製度変形は成立でも

と、其臨は独 る、親爺がそれ が立つて商品 での商品を列」でもある。 つて祭るんだらうと恐れを記者は一体何處からお茶を で計つてゐる、風 にきてゐる関がゐ にきてゐる関がゐ にきてゐる関がゐ ば、ビかかる

事員募集

新京賽馬俱樂部東富士町五丁目六 日給國幣二圓貳拾錢

父白潟七郎儀四月一日火 間右辱知各位 **米石効ナク八日午** 「鐵醫院入院加療

洋婦中ネ 人帽タ 全帽子イ 4 、話四九八〇







#10東京高島易 百中の指導 

けふ 告別 式 朝京 阿線 近で列車事故のため物故るだ 朝京 阿線 前 日午後四時かって 明月 海附 田午後四時かって カー・ 石から九日濱雕宮に於て鴨磯 名御慰勞と兩國願官交離の恩 名御慰勞と兩國願官交離の恩 食也 三条橋

至可二丁目

電話三八

ħ

街



数の見没を受け哀しく凱旋し遺骨は人日午前七時酸官民多 **遺骨出發** 番八五九日世呼階ニルビ鮮浦

オッ四月十五日迄(哈爾濱、幸天に一木)即座に各店で編身を御お

福引附大賣出し

店披露のます場様 記念ミー 支店 に側膜ひ申上ますが常来、大連、新京、遠陽の本支店、び哈爾濱に支店を開設することに成りま 店披 大賣 出 4

日午後四時競列車で享越に向 ひ出酸した、なは同事務官の 來る十日 各部 具業部大勝 局對抗野

球第二日

はたので希望者は早く買ひ求 したので希望者は早く買ひ求 したので希望者は早く買ひ求

武田後機會長

新京青年棚練所本年度新入所 日午後七時より新京商業-棚堂で奉行される 対 馬 攻 局 (十当五) ・ 大同廣場 あり資本金一萬國以上のもので實業大勝 のもの三軒を示し其他一千國以上のもので實業大勝 のもの三軒を示し其他一千國以上のもので表際大勝のもの三軒を示し其他一千國以上

(特人、病)院は問月海附近 日下新京衛成山院に入院中の 日下新京衛成山院に入院中の 野勇士を慰問したが、更に武 勝勇士を慰問したが、更に武 を一時から市民を代表して同

九時五十分諸列車で來京十一日西公園、朝東軍司令部、國邦皇居見學、南嶺、寛武二十一 衛道學院電 信科第一回

佐原局長等

現業視察

0

生徒來京

木炭、玩具等各三件、その他 木炭、玩具等各三件、その他 ・ 大村、料理薬、肉類、高薬、 ・ 大村、料理薬、肉類、高薬、

(4) 宮崎 (1) 間山 (8) 奥 (9) 吳田 (7) 吉明 (2) 小頭 (6) 頭 (5) サ期 (3) 瀬崎

館山海軍機 日本 一周飛行 

日本の壹圓サツが

無 銀 拾

圓紙幣に

の涂

に上る

驛三澤出札係に觀破さる

一路馴得千七百七 一路馴得千七百七 一路別得千七百七 一路別得千七百七 一路別得千七百七 一路別得千七百七 一路別得千七百七

納前結婚

この物徴に就て思ひ出されては首を締めるので、郷練とは首を締めるので、郷練とは首を締めるので、郷練

野町二丁目十八番 野町二丁目十八番 北守出度一組一新 社で僧老 地で僧老

の視察に向つた、一行の前七時十分ハルビン酸劑

十日午前六時十五分ボグラ

小鮓

B

春

0

八開業者

も一つ、文教部總務司長久米 成夫氏とこの知事の時だつた が忘れたがやはり陽綴に召さ れ、例のタモといふあの網を かまへて大きいの狙つてペッ サリ、得々としてゐると、そ れはオトリに飼つであると、そ

「える お出でなさいませ、彼し

・そとへ個人服を着た根が、慌た

松茂は、松をぎいつと難した。

どしく飛んできて、

とれる無財天の非光戒ち

青果委託賣買

支本店店

...(0)... 屋間卸

福田支

八〇番地

特約店

品雜貨

新春の中折、

鳥打

揃品服供小

目丁一町室

行洋久愛

番六六四六電

流線模様ネクタイ

陳

難頭は暮んで、

さうかえ、それちゃ変も仕つて

「あつ、御客機だ。既しますよ

くる民人服の若い女があった。

可能的さんと

新京蔵の天三の花町、石浦屋竹具店

食道樂

メイヤ街 電四

商品よ

50

には、あるどよめきが配った。

美しいお殿の数を見た島人の間

「船頭さん、扇ケ浦つてそんなに

と刺って腹船が砂地を離れた。

混ぜつ

も云はれ

向ふの砂地からい

すると、其機強いで砂丘を掘け下 とジョルダンの十字架の前に歌節

・見暇され、とうなる上は何寒も、

世とやらへ行きまする、ナチン」

無言のまる世も出って、ちょっ

い、加酸にしたらどうし

一人をからかふのも

**味新鮮廉價を以て率仕いたします料々** 開店以来御引立に酬ゆるため更に調理

季節向一品料理色々

風流釜めし

味鳥料 6

速迅前出

E

百部屋ノ中五十部屋=ハ各々風呂洗繭所が附イテイマス

ホテル専属娯樂場

★テル事務員へ露語、英語、日語、淺州語ヲ解シマス

都屋代へ一日ニ付キ國幣1080ヨリ御在イマス

レストラン

ランチ(二面 65銭) デイナ(一面 50銭) 其態飲物等へ 價格 低康 宴會ハー人前

國幣3,50 = 9出来 マスサロン 及ビジャズパンドハ毎夕 七時カラ始 さマス

TE 2318-3818-5559

カフェー

物(

御軽食ハ價格低度

征服一

頭痛に

も付ケ ハ街群退シマ

●開店一周年記念謝恩

老話はとれるあ

古春。洋服・オーバー類

替ズボン各種あり

へあんなに云ふから行って見やう一方感から野寮機を買ってどうしゃ

安を認めたらしく大きな語で、 は船頭が砂丘を見上げて、お腰の

移った。

船頭は水棒を取直して、

と、「いの時でつぶやいてゐると

こざいますか、この小笠原島へお

でなすのて、扇ケ浦を見ないで

つては話にかりません。今日は

が好えから、との転に乗つて見

利益があるだらう」

鍵を上げずばなるめえ、腹らかが

「あいよ、おい、 婚職様なら都要

これがお願の取に从って、

お職は、御哭して見せてい

「若し、動動造さんえ、

部財物で

せんやうに聞ひます

巫山歌た奴が

「若し即答果、何卒船神様を配ら

と、お豚は味めて西ると、今度

へおや、渡船と見える.

ーをアな

時んであるのは船頭らしい。

不らつせえ、取り乗ってしらつせ

える、関ケ浦見物の駅は此船に

を砂点の酸脂を振返って見た。 を砂点の酸脂を振返って見た。 渡船のところに大戦の人が開つ 打は形臓になってるて、その種 などと気を云ふと、 志秀 書雄

て助不な奴ばかりだわ、ほんとにと思ったら、何處に行っても見つ した所だから、人間もおだやかか 「頂さいねつ」 とんなのんびり し新に

に對し永久不斷の御鞭撻と御支援の程切に御顧ひ申上ます

謹みて御挨拶まで

昭和十年四月一日

天春 山 邑酒 町二 香地 造株 電话順三七六五、五四六八番 式 支 社

### 商 改

あります山邑酒造株式會社に於て從來の商號櫻屋商店を醸 櫻正宗養賣元櫻屋商店は永年に渉り全備諸方様より絶大な 腔の赤誠を捧げて敬意を表します。今回弊鋪直營の母體で る御愛撫御引立に浴し躍進今日を續け鉱漁只ならず茲に滿

の奉仕を載させて頂く事となりました、何卒新生奉天山邑 すに及ばす櫻正宗全御愛好家諸賢に對し奉り更に清新最高 と改稱して全滿販路へより一段の飛躍を進め御販賣店は申 山邑酒造株式會社奉天支店 80

Or no s

受職略級ホワテンサクラマサムネ

教育の天一一一、大連一五五九巻

家附看 西夕洗 产 

明用命の節は何卒 野田 通信事業 新 愛 大 五館五西 看 洗 八侧 護 布 五 婦會 = 所 =

山崎齒科 中央通西公園前 電転五 八〇三番

療 時間 午前九時==午後六時

油 権ケ枝町四丁目十四番地 侠 專 用用

會商弟兄中村

!品需必の庭家御代時期 ・最てしまひ用に修介ラサ・ランズ・イラフ すまりあで協耐会業祭き良

自動車用頂車両頂級科英特閣引二間前の問題を一見氷解せしむ▲東京府田無叫▲東京自動車の投票を責任保證の爲木體は全國試

蒙各

目 ぼろ 本 ギ ス



最 高 位 金 服 關 昭 東 和 清 酒 品 (第十九回) 評 會



